

令和3年5月25日

総長予定者の決定について

大阪大学総長選考会議

議長 鈴木 直

大阪大学総長選考会議は、推薦のあった3名の候補者について、面接、所信表明及び学内意向調査を実施し、それらの結果を参考に慎重な審議を重ねた結果、本日、西尾章治郎氏を総長予定者に決定した。

1. 総長予定者

西尾章治郎（現大阪大学総長）

2. 総長任期

令和3年8月26日 ～ 令和7年3月31日

3. 選考理由

同氏は、「求められる総長像」に掲げる5つの資質・能力を十分に備えている。総長としての6年間に、その資質・能力に裏付けられたリーダーシップを発揮し、社会との共創を通じた知の創出と人材の育成を図ることに努めてきた。

特に同氏は、現在大学が抱える多くの課題について適切に把握・分析しており、本学の直面する諸課題に対応できるよう「OU マスタープラン2027」において将来のビジョンを明確に示している。そのビジョンを実現するための「ACE プロジェクト」において掲げる具体的施策は、俯瞰的・網羅的かつ実現可能性にも留意されたものであり、本学の教育研究のさらなる発展・充実に資すると判断した。

第4期中期目標期間の到来をはじめ、大学を巡る変革の荒波の中で、同氏が持つ組織のリーダーにふさわしい決断力、実行力及び使命感によって、大学改革を着実に実行し、「生きがいを育む社会を創造する大学」の実現を期待する。

4. 選考過程

令和2年

12月17日 「求められる総長像」を公表した。

令和3年

3月16日 「総長選考実施要領」を学内に公開した。

4月1日～4月16日

総長候補者の推薦を受け付け、下記3名の「推薦書」「所信表明書」「履歴書」を受理した。

① 澤 芳樹 ② 仲野 徹 ③ 西尾 章治郎 (氏名五十音順)

4月19日 3名の総長候補者の氏名を公表するとともに、所信表明書及び履歴書を学内に公開した。

5月12日 3名の総長候補者に対し、総長選考会議による面接を実施した。

5月19日 3名の総長候補者による所信表明(質疑応答を含む)を実施した。

5月25日 総長選考会議が学内意向調査を実施した。

【意向調査結果】 ※投票率 83%

澤 芳樹 346 票

仲野 徹 98 票

西尾章治郎 263 票

白票、無効票 1 票

同日、総長選考会議を開催し、面接、所信表明及び学内意向調査結果を総合的に判断して選考を行い、投票の結果、西尾章治郎氏を次期総長予定者として決定した。

【投票結果】

澤 芳樹 5 票

仲野 徹 0 票

西尾章治郎 6 票

(備考)

1. 総長選考会議における選考の実施にあたり、客観的な評価を行うため、予め「共通の評価指標」(別紙)を取りまとめ、これらに基づき選考を行った。
2. 総長選考の開始にあたり、総長候補者との関係性において利益相反が疑われる総長選考会議委員からの自己申告を受け、令和3年4月27日開催の総長選考会議において、当該1名の委員を、その後の総長選考に関する議事に関与させないことを決定した。

【求められる総長像】前文

大阪大学は、大阪大学の原点である適塾や精神的源流である懐徳堂から受け継ぐ先見性と自由闊達な精神を継承した大阪大学憲章に掲げる基本理念を尊重し、社会との共創を通じた、知の創出と人材の育成によって、人類の幸福と社会の持続的成長に貢献することを目指している。

総長には、その実現を追求する強い意志と、次のような資質・能力が求められる。

	「求められる総長像」各項目	評価の観点	評価項目
1	人格が高潔で、学識が優れ、国際的な視野を有する者であるか	大阪大学総長として相応しい資質を備えた人物であるか	高潔な人格
2			優れた学識
3			国際的な視野
4	学内外からの尊敬と信頼を得て、組織のリーダーにふさわしいコミュニケーション力、決断力及び実行力を発揮できる者であること	学内外の関係者と確固たる信頼関係を築き、大阪大学のリーダーとして大学を導いていくための資質を備え、かつ、それを十全に発揮することのできる人物であるか	学内外の関係者と確固たる信頼関係を築く力
5			相手を尊重し対話を重んじたコミュニケーション力
6			自主独立の気概と、組織のリーダーにふさわしい決断力及び実行力
7	大阪大学の理念実現のため、将来のビジョン及び方策を明確に示し、高い志をもってその実現に取り組むことができる者であること	所信表明において示された将来のビジョンと方策は評価できるものであるか	ビジョンの明確性
8			ビジョンの卓越性
9			方策の実現可能性
10	実学の伝統と総合大学としての特色を追求し、グローバル時代にふさわしい教育基盤及び研究環境を構築して、大学の存立基盤を確立することができる者であること	大阪大学の存立基盤の確立を図るにあたり、大阪大学の理念と伝統・特色を踏まえた姿勢を有する人物であるか	基礎と応用のバランスに配慮した、現実社会の要請に応える教育研究を実践する姿勢
11			新時代に適合する分野融合型の教育研究を推進する姿勢
12			グローバル時代に即した教育基盤及び研究基盤を構築する姿勢
13	社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指し、学内の諸課題に対して適切な指導力を発揮するとともに、大学改革を強力に推進する経営能力を有する者であること	社会変革に貢献する世界屈指の大学を目指すにあたり、大阪大学のリーダーとして相応しい資質を備え、かつ、それを十全に発揮することのできる人物であるか	学内の諸課題に対し、構成員間の協調をとおして解決を図るための指導力
14			社会との共創を通じた社会変革を推進するマネジメント力
15			社会や時代の要請に応じた絶えざる大学改革を強力に推進する経営能力

履 歴 書

(ふりがな) 総長候補者氏名	(にしお しょうじろう) 西 尾 章 治 郎		
生年月日 (年齢)	昭和 26 年 10 月 20 日生 (69 歳)		
現 職	大阪大学総長	就任年月 日	平成 27 年 8 月 26 日
所 属	大阪大学		
学 歴 (大学卒業以降)			
年 月	事 項		
昭和 50 年 3 月 昭和 52 年 3 月 昭和 55 年 3 月 昭和 55 年 3 月	京都大学工学部数理工学科卒業 京都大学大学院工学研究科修士課程数理工学専攻修了 京都大学大学院工学研究科博士後期課程数理工学専攻修了 京都大学工学博士		
職 歴			
年 月	事 項		
昭和 55 年 4 月 昭和 55 年 6 月 昭和 63 年 6 月 昭和 63 年 10 月 平成元年 10 月 平成 4 年 4 月 平成 4 年 8 月 平成 10 年 4 月 平成 12 年 4 月 平成 13 年 4 月 平成 14 年 4 月 平成 15 年 8 月 平成 16 年 4 月 平成 19 年 8 月 平成 25 年 4 月 平成 25 年 7 月 平成 27 年 8 月	京都大学工学部助手 カナダ・ウォータールー大学客員研究助教授(昭和 56 年 5 月まで) カナダ・プリティッシュコロンビア州高級システム研究所客員フェ ロー(昭和 63 年 10 月まで) 大阪大学基礎工学部助教授 大阪大学情報処理教育センター助教授 大阪大学基礎工学部助教授 大阪大学工学部教授 大阪大学大学院工学研究科教授 大阪大学サイバーメディアセンター長(平成 15 年 8 月まで) 文部科学省科学官(研究振興局)(平成 20 年 3 月まで) 大阪大学大学院情報科学研究科教授(平成 27 年 8 月まで) 大阪大学大学院情報科学研究科長(平成 19 年 8 月まで) 大阪大学総長補佐(平成 18 年 3 月まで) 大阪大学理事・副学長(平成 23 年 8 月まで) 大阪大学サイバーメディアセンター長 (平成 27 年 8 月まで) 大阪大学特別教授 (平成 27 年 8 月まで) 第 18 代大阪大学総長		
学会、社会における活動等			
年 月	事 項		
平成 11 年 6 月 平成 14 年 3 月 平成 15 年 11 月 平成 16 年 5 月 平成 16 年 7 月 平成 17 年 5 月 平成 19 年 3 月	日本放送協会近畿地方放送番組審議会委員(平成 13 年 6 月 同 委員 長) 文部科学省文化審議会臨時委員(国語分科会) 京都賞先端技術部門専門委員会委員 文部科学省独立行政法人評価臨時委員(高等教育分科会) 文部科学省大学設置・学校法人審議会専門委員(大学設置分科会) (独)科学技術振興機構 科学技術振興審議会委員 内閣府総合科学技術会議専門委員		

平成 20 年 2 月 平成 20 年 10 月 平成 21 年 7 月 平成 22 年 5 月 平成 23 年 1 月 平成 23 年 8 月 平成 24 年 6 月 平成 24 年 7 月 平成 25 年 2 月 平成 25 年 6 月 平成 25 年 6 月 平成 26 年 12 月 平成 27 年 2 月 平成 28 年 7 月 平成 29 年 1 月 平成 29 年 6 月 令和 2 年 4 月 令和 2 年 6 月 令和 2 年 12 月 令和 3 年 2 月	(独)科学技術振興機構 科学技術情報事業委員会委員長 日本学術会議会員 (平成 23 年 8 月 同 情報学委員会委員長) 内閣府政策統括官最先端研究開発支援ワーキングチーム構成員 (独)科学技術振興機構 研究主監(PD) 経済産業省評価検討委員会委員 (独)科学技術振興機構 国際科学技術協力推進委員 日本データベース学会会長 関西国際戦略総合特別区域地域協議会委員 文部科学省科学技術・学術審議会委員(本審議会のもとで、学術の基本問題に関する特別委員会主査、学術情報委員会委員長、科学技術・学術分科会分科会長、科学技術・学術分科会研究費部会長、情報委員会主査等を務める。) 日本学術振興会賞審査委員会委員 大川賞審査委員会委員(平成 29 年 6 月 大川情報通信基金理事) 日本ユネスコ国内委員会委員 日本国際賞審査委員会委員 国立国会図書館科学技術情報整備審議会委員長 総務省情報通信審議会委員 (会長代理、情報通信技術分科会会長) 情報処理学会会長 国立研究開発法人科学技術振興機構 創発的研究支援事業創発運営委員会委員長 稲盛財団稲盛科学研究機構 (InaRIS) 運営委員会委員 2025 年日本国際博覧会協会シニアアドバイザー 大阪府・市リードアーキテクト その他、官庁、地方自治体、学会等の多数の役職を歴任している。
受 賞 歴	
年 月	事 項
平成 14 年 5 月 平成 17 年 3 月 平成 23 年 3 月 平成 23 年 6 月 平成 23 年 11 月 平成 24 年 5 月 平成 26 年 6 月 平成 26 年 10 月 平成 28 年 11 月 令和 2 年 6 月	電子情報通信学会業績賞 船井情報科学振興財団 船井情報科学振興賞 日本データベース学会功労賞 情報処理学会功績賞 紫綬褒章 立石科学技術振興財団 立石賞功績賞 電子情報通信学会功績賞 文部科学大臣賞 文化功労者 「情報通信月間」総務大臣表彰 その他、学会からの論文賞、国際会議での Best Paper Award 等を多数受賞している。また、電気・電子・情報工学分野で世界最大の学会である IEEE をはじめ 4 学会からフェローの称号を付与されている。
その他特記事項	
令和元年 6 月から国立大学協会副会長として、国立大学の振興にも尽力している。	
上記のとおり相違ありません。	
令和 3 年 4 月 9 日	
氏 名 西尾章治郎 (自署)	

※ 1 年齢は、令和 3 年 4 月 1 日現在の年齢を記載してください。
 ※ 2 この履歴書は、選考過程において、本学の学内専用サイト「マイハンダイ」で公開されます。なお、最終選考において総長予定者となった場合は、学内外に公表されます。